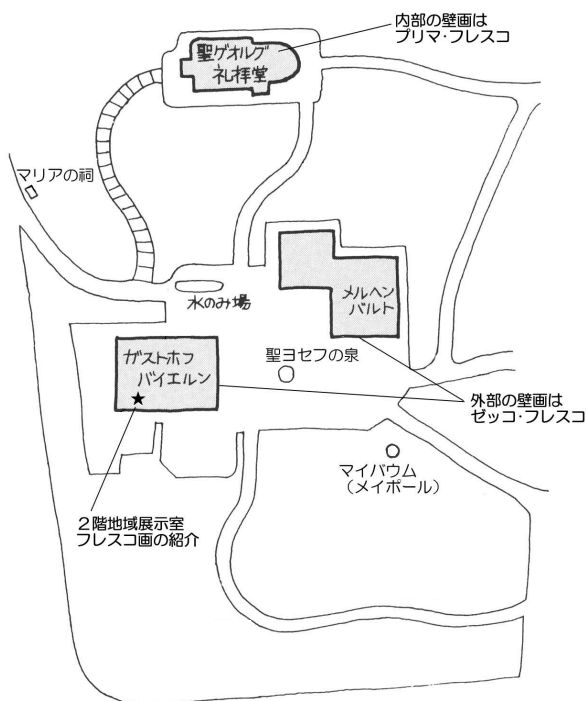


ドイツ バイエルン 州^{しゅう} の村

ドイツ南部、バイエルン州のガルミッシュ・パルテンキルヘン^{しゅうへん}周辺^{しゅうけい}をモデルとして、のどかな美しい村の情景^{ふくげん}を復元しています。村は聖ヨセフの泉^{せい}を中心に、色あざやかなフレスコ画^がの外壁^{がいへき}をもつ2棟の民家と、丘の上の礼拝堂^{れいはいどう}からなります。



ガルミッシュ・パルテンキルヘンは、バイエルン州^{しゅう}都ミュンヘンの南方90km、オーストリア国境近くにあるアルプス山麓^{さんろく}の村です。小さい町ですが、冬のスポーツ、温泉療養^{りょうよう}、夏の避暑地^{ひしょち}として多くの観光客が訪れるリゾート地として有名です。このあたりの家並み^{とくちよう}の特徴^{がいろ}は、街路にそってならぶ商店や民家の外壁に美しい壁絵が描かれていることです。この壁絵は250年の歴史を持ち、「風の絵」と呼ばれ、またその壁絵を描く画家は「風の画家」と呼ばれています。

風の絵とその技法^{ぎほう}

「風の絵」という名前のいわれは、そよ風のような手早さ^{てばや}で描きあげなければならぬフレスコ画特有の描き方^{えが}に由来^{がとくゆう}します。リトルワールドのフレスコ画は、2つの技法で描かれています。ひとつは礼拝堂内部のプリマ・フレスコ、もうひとつは2棟の民家の外壁に見られるゼッコ・フレスコです。それぞれ次のような特徴^{れいはいどうないぶ}があります。

<プリマ・フレスコ^{しんせい}（真正フレスコ）>

壁の石灰モルタルが湿^{しめ}っている間に、顔料^{がんりょう}を水とともに浸透^{しんとう}させる技法です。みずみずしい美しい色調^{しきちよう}ですが、一日に描く範囲^{はんい}が限られます。

<ゼッコ・フレスコ^{かんしき}（乾式フレスコ）>

壁の石灰モルタルが乾燥^{かんそう}した状態^{じょうたい}で、顔料^{がんりょう}を水ガラスで溶^といて浸透^{しんとう}させる技法です。風、雨、陽光による褪^{たいしよく}色に強く、外壁に適^{てき}していますが、描写時^{びやうしゃじ}と乾燥後の顔料^{はんりょう}の発色^{はつしよく}に差^さがあります。



ゼッコ・フレスコ画

「ガンブリーヌス」

ビールの国ドイツでは、ガンブリーヌスはゲルマン人にビール造^{つく}りを教えた神様（あるいは王様）。



プリマ・フレスコ画

「聖母の戴冠^{せいぼ たいかん}」

父なる神、その子イエス・キリストとハトの姿の聖霊^{せいれい}から黄金^{かんご}の冠^{かんむり}を授^{さず}かり祝^{しめく}福^{ふく}を受けるマリア。